

Chigasaki Municipal Hospital 【Newsletter】

# 市立病院 通信

令和4年2月1日発行 第7号

当院の取り組みや健康に関する様々な情報をお知らせします

茅ヶ崎市立病院  
～ 健やか・共創 ～

〒253-0042 本村5-15-1

☎0467-52-1111

茅ヶ崎市立病院

検索



泌尿器科



泌尿器科

杉浦 晋平 科部長

一般・消化器外科

新海 宏 科部長

乳腺外科

嶋田 和博 科部長

産婦人科

高梨 裕子 科部長

## 外来化学療法室リニューアル特集 — 4 診療科インタビュー —

※撮影時のみマスクを外しております。

# 外来化学療法室がリニューアル 広く・明るく・安らぐ部屋に

2022年春、茅ヶ崎市立病院の外来化学療法室が新しくなります。外来で長時間の抗がん剤治療を受ける方に少しでも心地よく過ごしていただけるよう、広く明るいデザインに生まれ変わります。外来化学療法室に関わる4診療科の医師にそれぞれの思いを聞きました。

## 乳腺外科

新しい化学療法室を通じて、患者さんの心に寄り添った安全で効果的ながん治療を提供していきたいと考えています。

### がん治療と同時に始まる心のケア

乳腺外科の嶋田先生が外来化学療法室リニューアルのプロジェクトリーダーに就かれたのは、どのような経緯なのでしょう。

▼ 現在、乳腺外科は小人数構成のため規模は大きくありませんが、医師一人あたりの外来化学療法室利用がもつとも多いことから、この任務を任せられました。他の診療科の多くが内科と外科で診断・投薬・手術の役割分担をしているのに対し、乳腺外科は検査・診断から手術、投薬、予後のケアまで一人の患者さんを見続けているので、より患者さんの目線に近いリニューアルが可能だと考えています。

▼ なぜ今、外来化学療法室をリニューアルすることになったのですか。

▼ 外来化学療法室について話す前に、最近のがん治療、特に乳がんの治療についてお話しさせてください。

乳がんは、日本では女性の12人に一人がかかること、女性のがんでは罹患率第1位です。しかも、40歳代から60歳代の比較的元気な世代の女性が多く発症しています。本人も家族もまだ「命のリスク」について多くは考えない現役世代ですから、がん告知には大きなショック伴うことがとても多いです。

一方、死亡率は決して高くなく、他のがんが完治の指標として3年生存率、5年生存率を使っているのに対し、乳がんは10年生存率を使うようになってきました。



乳がんは研究が進んだことで、よく効く薬が開発され、5年生存が普通になってきているからです。言い換えればそれだけ長く付き合う病気であるとも言えることができます。

最近のがん治療

では、がんの診断や、告知の時点、もっと言えば診断前の検査段階から緩和ケアを行うことが推奨されています。乳腺外科でも、告知の際には緩和ケアチームに同席してもらいます。体の治療が始まるより前に「心のケア」が始まるのです。外来化学療法室のリニューアルも、そんな心のケアの一環に位置付けられています。

### 長時間過ごす部屋を広く、明るく、快適に

外来化学療法室リニューアルが緩和ケアの一環になるというのはどういう意味でしょうか。

▼ 入院を必要としない多くの患者さんにとって、その長い治療の大きな割合を占めるのが、外来化学療法室での点滴治療になります。

あなたが万が一患者になったときのことを想像してみてください。命の不安を抱え、薬の副作用で気分も暗くなりがち。それでも1〜3週間に一度、長いもので3時間ほどの点滴治療を受けるために同じ部屋に通い続けなければなりません。どんな部屋で点滴を受けたいのですか。暗く、狭く、人が慌ただしく行き来する部屋に通されるとしたらどうでしょう。病院へ向かう前から、すでに暗い気分になってしまいかもしれません。

外来化学療法室を「通うのが憂鬱になるような部屋にしない」というのが私たちの答えです。ふだんは普通に仕事や家事、育児をしていた方が、病院に来て化学療法室のドアを開けた瞬間に「患者」になってしまう。その状況が長く続くことは心も身体も、どんどん自分から「病人らしく」なっていくってしまいうリスクへとつながっていきます。それは避けなければならないと思っています。

治療室らしくない治療室にすること。明るく、通うことが憂鬱にならない外来化学療法室にすることが、患者さんの心のケア、緩和ケアにつながっていくと考えています。

具体的にはどのような部屋になるのでしょうか。

▼ まず、部屋が広くなります。約140平方メートル

で従来の約3倍になるためベッド数も6床から11床に増えますが、ベッドの間隔は十分にとれる広さです。壁、カーテンは明るく、安心感のある色使いにします。照明の色や光の強さからコンセントの高さまで考え、Wi-Fiも完備予定です。また、今までは窓のない閉鎖的な部屋でしたが、窓から陽光を取り込めるようになりました。

これらは単なる部屋のデザインで病気や治療とは関係ないと思われがちですが、副作用を抱えながら何度も通う患者さんの気持ちをつなぎ止める心のケアとして、大事な要素だと思っています。

今回は女性目線を中心にデザインしていますが、外来化学療法室は他の診療科の男性患者さんにも利用します。いろいろな医師や、特に直接患者さんに携わる現場看護師の意見を取り入れ、すべての患者さんが少しでも前向きな気持ちになれるよう、点滴中でもできる限り快適に過ごせるような空間をめざしています。

最後に、茅ヶ崎市立病院の乳腺外科が診療で心掛けていることを教えてください。

▼ 私たち「乳腺チーム」のポリシーは、常に患者さんの立場に立つて物事を考える、ということ。乳がんに関しては世界的に研究が進み、新しい薬も開発されて早期発見すれば治る病気になっています。そもそも、最新で安全な治療を提供することは原則であり当然のことと考えています。その上で、いかに患者さんの心に寄り添い、いかに患者さんの日常生活を保つことができるか、それを第一に考えていくことが今後社会に求められる医療であると考えています。



嶋田和博 科部長

一般社団法人日本外科学会外科専門医、一般社団法人日本乳癌学会認定医・乳癌専門医

## 産婦人科

外来化学療法室ができることにより、日帰りの化学療法も可能になるかもしれません。

### がんは薬で治療・症状の改善が期待できる病気に

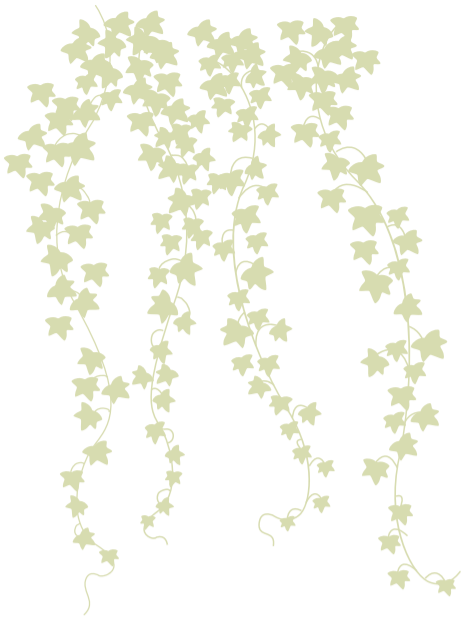
産婦人科で外来化学療法室を利用するのはどのようなケースですか。

▼ 卵巣がん、子宮体がん、子宮頸がんなどの婦人科系のがんは、比較的抗がん剤が効きやすい病気です。手術でがんを切除し、その後化学療法で再発を抑えるという治療が一般的ですが、たとえ再発しても化学療法を続けることで症状が改善するケースが増えてきています。

婦人科系のがん治療も変わってきているんですね。

▼ 薬は日々進化しており、がんは化学療法で治療や症状の改善が期待できるようになってきています。しかし抗がん剤治療にはどうしても副作用が伴います。当院では治療の前後、早い段階で緩和ケアチームにコンタクトをとり、治療の方針を決めています。特に卵巣がんは副作用が強く出がちなのですが、年齢によっては新薬を使いながら再発までの期間を延ばす治療も可能になってきています。

もちろん早く発見できればそれだけ根治の可能性は高くなります。子宮体がんは、不正出血などの兆候を放置しなければ比較的初期で発見できます。子宮頸がんは検診を受けていれば95%は発見できますし、ワクチンで予防することもできます。



高梨 裕子 科部長  
公益社団法人日本産科婦人科科学会産婦人科専門医、母体保護法指定医

### 日帰りの点滴に対応しやすく

外来化学療法室のリニューアルに関してはどのようなメリットを感じていますか。

▼ 現状では、産婦人科での化学療法は入院していただいていることがほとんどです。使用する薬にもよりますが、朝10時から夕方4時までかかることがあるので、それだけの時間化学療法室のベッドを確保するのが難しいというのが現実です。入院となると、準備と副作用の対策も含めて2泊3日が標準です。もちろんその方が安心だという患者さんも多いと思いますが、できれば日帰りになりたいという方も多々います。

病床が増えれば、今までより日帰りにも対応できるようになると期待しています。一度にたくさんの方が入院で点滴をされると、いくつもの病室をまわらなければならぬ看護師の負担も大きくなります。外来化学療法室1カ所であればそんな負担も減らすことができると考えています。

新しい外来化学療法室に望むことはありますか。

▼ 婦人科系のがん患者さんで抗がん剤治療を行うのは、50歳代以上70歳代までの女性がほとんどです。部屋が明るくなるのはいいと思います。患者さんの安静を保つためには、空間を広くして、一人ひとりにゆったりとしたスペースが必要だと考えています。

## 泌尿器科

外来化学療法室の充実、患者さんの長期にわたる治療の経済的・心理的負担を減らす大きな意味があります。

### 外来でできる薬の幅が増えた

泌尿器科で化学療法を行うのはどんなケースですか。

▼ 泌尿器科系の代表的な疾患は、腎がん、腎盂尿管がん、膀胱がん、前立腺がん、精巣がんなどです。これらのがんは近年、早期発見でき、完治できる症例も増えてきていますが、まだ転移のあるような進行がんとして見つかるケースも多いのが現実です。化学療法は主にこのような患者さんに対して行われます。

### 外来でも安心の副作用対策

外来の化学療法が増えることに対して課題はありますか。

▼ 外来の化学療法は、生活の面で患者さんの負担が少ない反面、副作用への対応が一番の課題となります。入院であれば24時間チェック体制が整っているので即座に対応できますが、通院の場合は直接経過観察できる時間が少なく、そのときに兆候を見逃すと、次の診察まで間隔が空いてしまうこともあります。特に新しい薬に関しては症例数が少ないため、細心の注意が必要です。

外来化学療法室のリニューアルは、泌尿器科にとってどのような意味がありますか。

▼ 残念ながら、精巣がん以外は完治は困難ですので、病状の安定、そして長期延命が目標になります。前立腺がんに対するホルモン治療のように、内服や注射ですむ治療も増えてきておりますが、それで抑えきれないときに点滴で対応することになります。

当診療科では、前立腺がんに対して殺細胞性抗がん剤、腎がん、腎盂尿管がん、膀胱がんには免疫チェックポイント阻害薬による治療が外来通院で行われています。このように抗がん剤の種類が増え、さまざまながんに対応できるようになったことで、日帰りできる投薬治療の幅が増えています。

長期にわたる治療は、効果はもちろんですが、生活の質を落とさないことも大切です。60歳を超えても働き続ける方が増えてきており、通常の日常生活を送りながら治療を続けられる外来治療環境の充実、患者さんの経済的、心理的な負担を減らす、大きな意味があるといえるでしょう。



杉浦 晋平 科部長  
一般社団法人日本泌尿器科学会泌尿器科専門医、身体障害者福祉法指定医

# 一般・消化器外科

食道、胃、大腸、肝臓、胆嚢、膵臓などの消化器外科を中心に、甲状腺・ヘルニアなどの一般外科領域を診療しています。

## CVポートで点滴をサポート

消化器系のがんの抗がん剤治療は主に消化器内科が行うということですが、外来化学療法室での一般・消化器外科の役割は何か。

抗がん剤治療でよく使われるCVポートの埋め込み手術はほぼ当診療科で担当しています。

CVポートは、正式には「皮下埋め込み型ポート」といい、中心静脈カテーテルの一つです。直径3センチほどの本体を胸の皮膚の下に埋め込み、本体から出ているカテーテルを心臓の近くの太い静脈につなぎます。専用の注射針を皮膚ごしに本体に刺して点滴の薬剤を投与するという仕組みです。

CVポートは外来の患者さんにとってどのような利点があるのでしょうか。

外来だけではありませんが、通常、点滴は腕の血管に針を刺して投薬します。点滴の間、腕は動かせません。抗がん剤のなかには刺激性の強い薬剤も多く、漏れると静脈を傷めることも考えられます。

また、長期間抗がん剤治療をする患者さんは、何十回、多ければ100回以上も腕に針を刺すことになり、その負担は計り知れません。

CVポートを通して投薬すれば、确实だし、針も固定されるので安全。針を抜けば30分ほどでふさがるので、その日の夜に入浴することも可能です。抗がん剤は直接太い中心静脈に入るので、他の細い静脈に負担をかけることもありません。

外来化学療法室完成予想図  
※イメージ図のため実際の完成図と異なる場合があります。



新海 宏 科部長

一般社団法人日本外科学会外科専門医、日本消化器病学会消化器病専門医、一般社団法人日本消化器外科学会消化器外科専門医、身体障害者福祉法指定医

## 患者さんのQOL向上に貢献

異物を埋め込むことで、患者さんの負担にはなりませんか。

もちろんまったく気にならないということはないでしょう。点滴が10回以内で済むような患者さんには勧めません。ただ、大きさは心臓のペースメーカーの4分の1ほどで極めて小さいので、違和感は少ないと思います。それよりも体の負担や生活の負担を考えると、メリットの方が多くでしょう。

外来化学療法室が新しくなることで、CVポートの活用はどのようになりますか。

当診療科では2006年からCVポートを導入しています。外来化学療法室の病床数が増え、日帰りで化学療法を受ける方が増えれば、当然、CVポートの利用は増えていくでしょう。

よく効く薬が開発され、長期の延命が可能になれば、次に重視されるのは患者さんのQOLです。CVポートの利用で点滴の負担を少しでも減らすことができ、新しい外来化学療法室を利用する患者さんのQOL向上につながると考えています。

# 茅ヶ崎市立病院に、新「内視鏡センター」オープン

令和3年  
10月4日

明るく広々とした新「内視鏡センター」で、より快適に検査・治療を受けていただけるようになりました



内視鏡センター入口



- 内視鏡検査室3室および透視下内視鏡検査室1室の計4室を設置
- リカバリー室10床新設→鎮静剤を使用した内視鏡を受けた患者さんが一時的に休むことができます。
- 消化器内科が併設されており、外来診療で緊急内視鏡が必要となった患者さんに迅速に対応できます。



併設の診察室は温かみのある配色にしました。



内視鏡室は部屋ごとに異なる配色となっています。



リカバリー室は南側からの自然採光をたっぷり取り入れた、明るいお部屋です。

## 紹介状をお持ちください

初期の医療は患者さんの身近にある診療所が担い、診療所が対応できない医療は地域の基幹病院が担うという医療機関の機能分担の推進を目的として、市立病院など400床以上の地域医療支援病院では選定療養費の徴収が義務づけられています。

他の医療機関からの紹介状を持たずに市立病院を受診する場合は、通常の初診料のほかに選定療養費として5,500円(税込)をご負担いただきます。



## 茅ヶ崎市立病院

☎0467-52-1111

- ◇ 受付時間 = 午前8時30分～11時
- ◇ 診療時間 = 午前9時～午後5時
- ◇ 休診日 = 土・日曜日、祝日、年末年始